

多文化共生まちづくりアンケート集計結果【R5】

1. アンケート集計結果（単純集計）

対象者及び回答結果

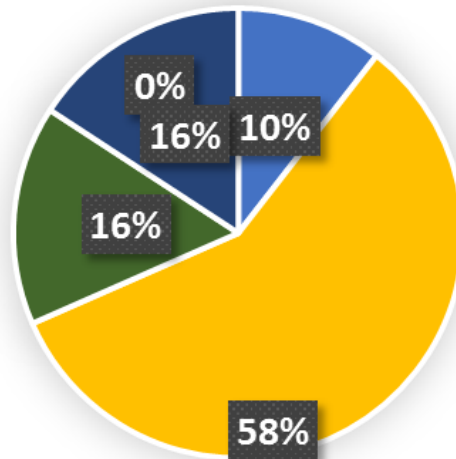
調査基準日	令和5年8月25日
調査期間	令和5年8月25日から9月22日まで
対象者	①町内に住所を有する外国人技能実習生 ②外国人を雇用する事業者（個人事業者含む）
調査方法	郵送による配布・回答方式
アンケート配布数	①町内在住の外国人（在留資格：永住者・配偶者を除く）42名 ②外国人を雇用する事業者 10箇所
アンケート回答数	①町内在住の外国人（在留資格：永住者・配偶者を除く）19名 ②外国人を雇用する事業者：4事業者
アンケート回答率	①町内在住の外国人（在留資格：永住者・配偶者を除く）45% ②外国人を雇用する事業者 40%

基準日を令和5年8月25日とし、約1ヶ月間の回答期間を設け、町内の対象外国人を雇用している事業者へ「事業者用」と「外国人用」のアンケート用紙を郵送配布。

天塩町に在住・外国人へのアンケート結果 n=19

Q1. あなたの国籍は

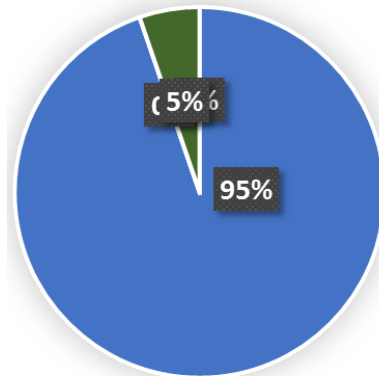
中国	0	0%
ベトナム	2	11%
インドネシア	11	58%
フィリピン	3	16%
ミャンマー	3	16%
計	19	100%



国籍は、インドネシアが約6割を占める。

Q2. あなたの年齢は

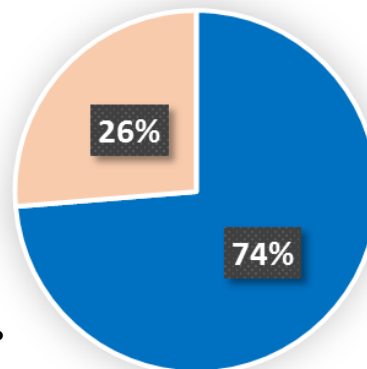
10～19歳	0	0%
20～39歳	18	95%
40～59歳	0	0%
60歳以上	1	5%
計	19	100%



年齢は20代～39歳が95%で、若年層に限られる。

Q3. あなたの性別は

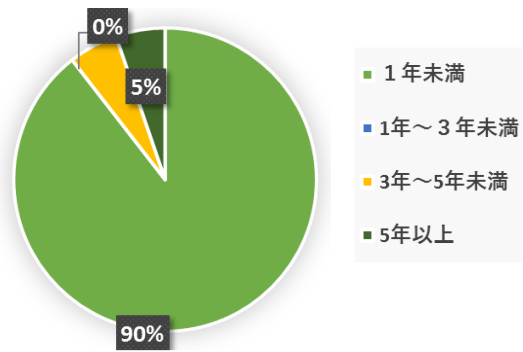
男	14	74%
女	5	26%
計	19	100%



性別は、男性74%、女性26%と男性の割合が高い。

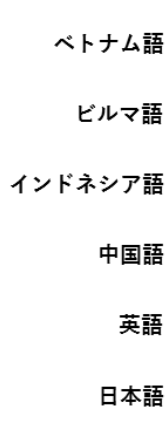
Q4. 天塩町に住んで何年目ですか

1年未満	17	89%
1年～3年未満	0	0%
3年～5年未満	1	5%
5年以上	1	5%
計	19	100%

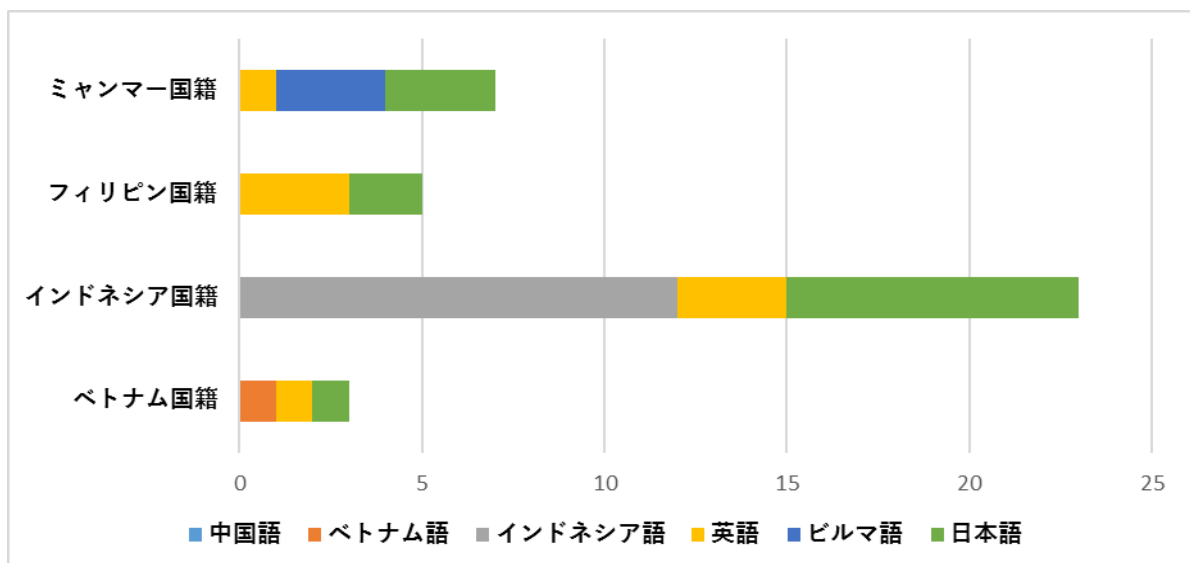


天塩町への居住年数については、1年未満が全体の9割を占め、居住年数の浅いものが大半を占める。

Q5. 話せる言葉は、何ですか（複数回答）



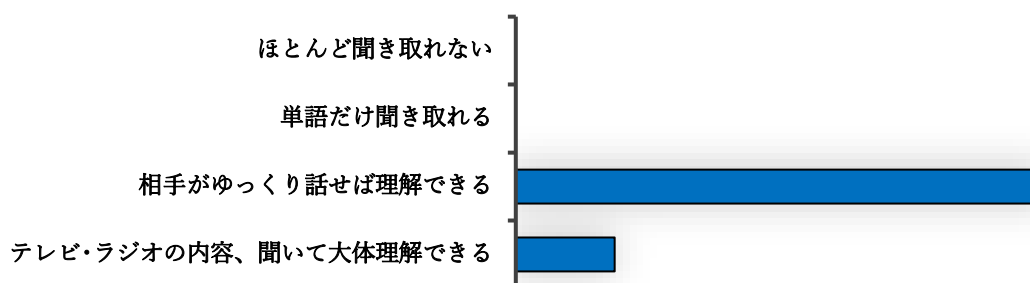
母国語に加え、日本語を読むことが可能と伺える。また、英語についても一部で読むことが可能と回答している。



Q6. 日本語について

6-1・日本語を聞く

テレビ・ラジオの内容、聞いて大体理解できる	3	16%
相手がゆっくり話せば理解できる	16	84%
単語だけ聞き取れる	0	0%
ほとんど聞き取れない	0	0%
計	19	100%



6-2・日本語を話す

日常会話ができる	7	37%
ゆっくりと話すことができる	7	37%
短い言葉であれば話すことができる	5	26%
話すことができない	0	0%

6-3.日本語を読む

簡単な漢字とひらがな（かた）の文章が読める	8	42%
ひらがな（かた）の文章が読める	10	53%
ひらがな（かた）もほとんど読めない	0	0%
計	19	100%

6-4.日本語を書く

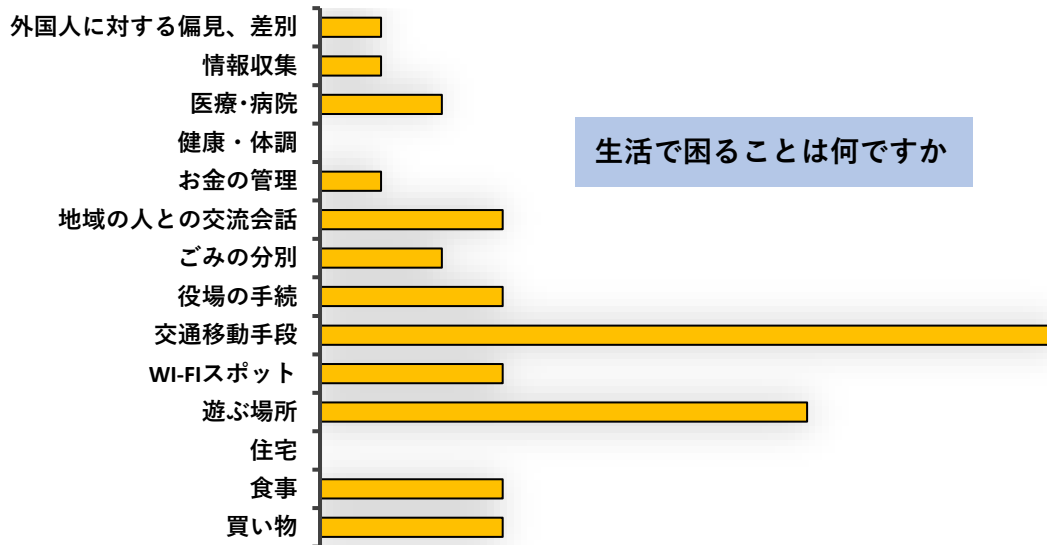
住民票などの申請に必要な書類が 漢字交じり で書ける	3	16%
住民票などの申請に必要な書類が漢字交じりで書ける書類が 仮名 で書ける	9	47%
住民票などの申請に必要な書類が 名前・住所のみ仮名 で書ける	7	37%
ほとんど書けない	0	0%

Q7. 日本語を勉強したいと思いますか

勉強している	19	100%
これから勉強したい	0	0%
勉強したいと思わない	0	0%

Q8. 生活で困ることは何ですか（複数回答）

買い物	3
食事	3
住宅	0
遊ぶ場所	8
Wi-Fi スポット	3
交通移動手段	12
役場の手続	3
ごみの分別	2
地域の人との交流会話	3
お金の管理	1
健康・体調	0
医療・病院	2
情報収集	1
外国人に対する偏見、差別	1

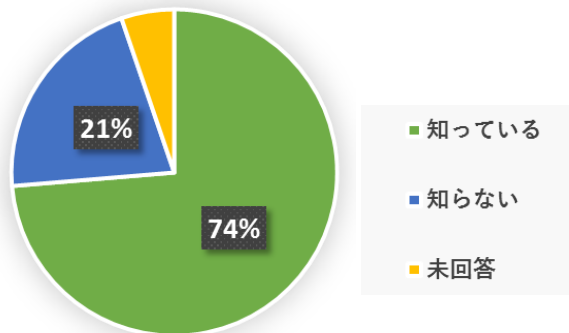


生活での困りごとについて、「交通移動手段」が最多、次いで「遊ぶ場所」など主に余暇活動や情報収集に関する項目がピークを見せている。

Q9. 災害が起こったとき

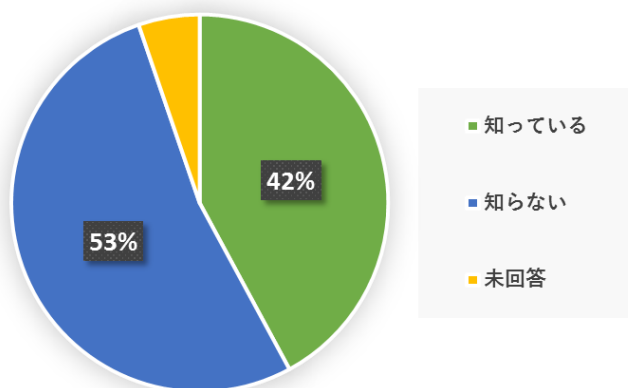
Q9-1. 台風・洪水・地震などが起こったとき、どうすればよいか知っていますか

知っている	14	74%
知らない	4	21%
未回答	1	5%
計	19	100%

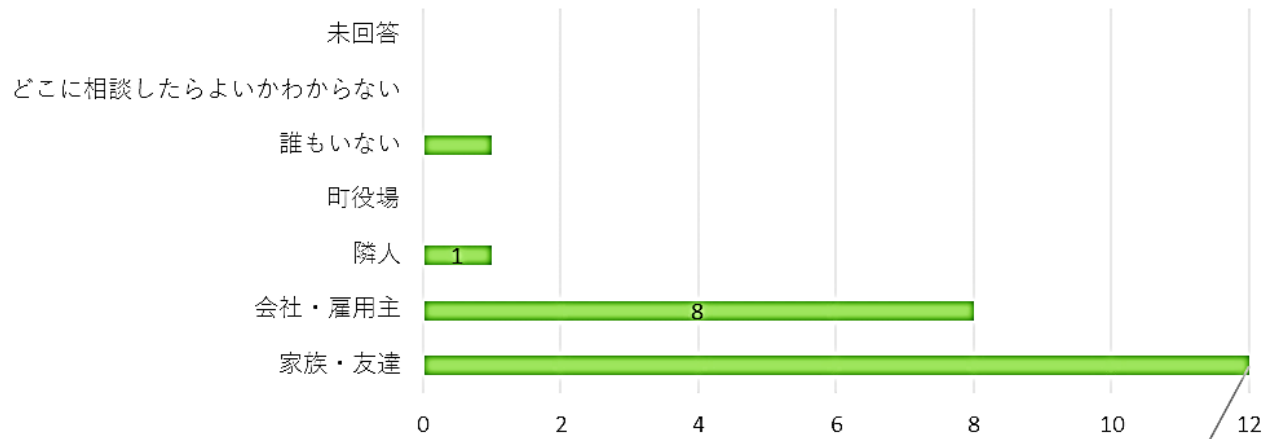


Q9-2. 災害が発生した際の避難場所を知っていますか？

知っている	8	42%
知らない	10	53%
未回答	1	5%
計	19	100%



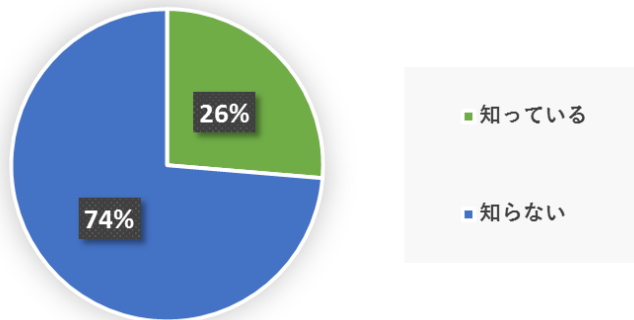
Q10. 困ったとき誰に相談しますか？



困ったときの相談先について家族・友達が最多、次に会社・雇用主と回答しており、その大半を占めている。

Q11. 北海道外国人相談センターを知っていますか

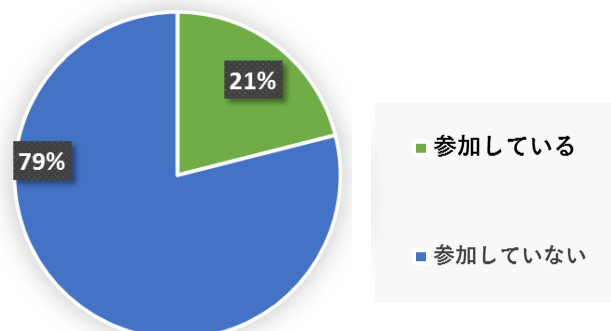
知っている	5	26%
知らない	14	74%
計	19	100%



北海道外国人相談センターの認知度について74%が「知らない」と回答している。

Q12. 町内会活動に参加していますか？

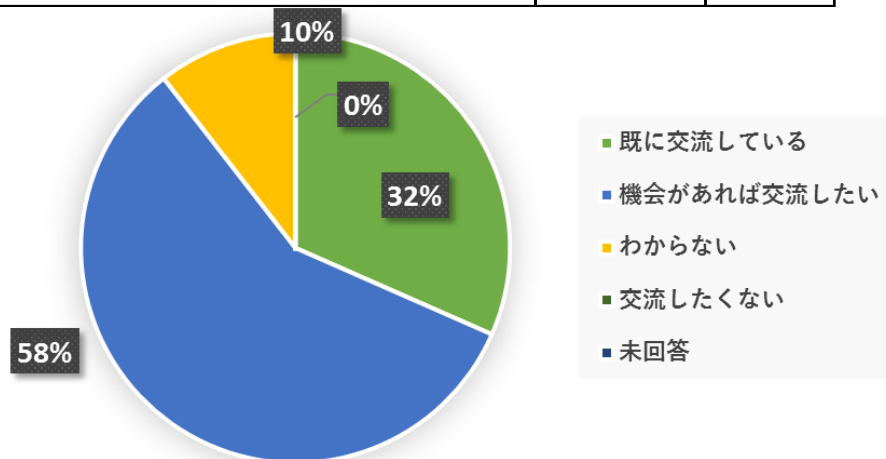
参加している	4	21%
参加していない	15	79%
計	19	100%



町内会活動への参加について、約8割が「参加していない」と回答している。

Q13. 地域の人たちと交流したいと思いますか

既に交流している	6	32%
機会があれば交流したい	11	58%
わからない	2	11%
交流したくない	0	0%
未回答	0	0%
計	19	100%

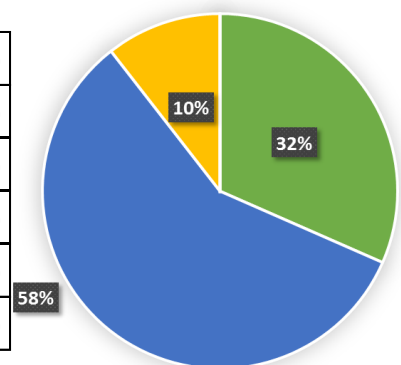


地域の人たちとの交流について、約6割が「機会があれば交流したい」と回答しており、約3割が「既に交流している」と回答している。

Q14. 天塩町での暮らしや仕事に満足していますか

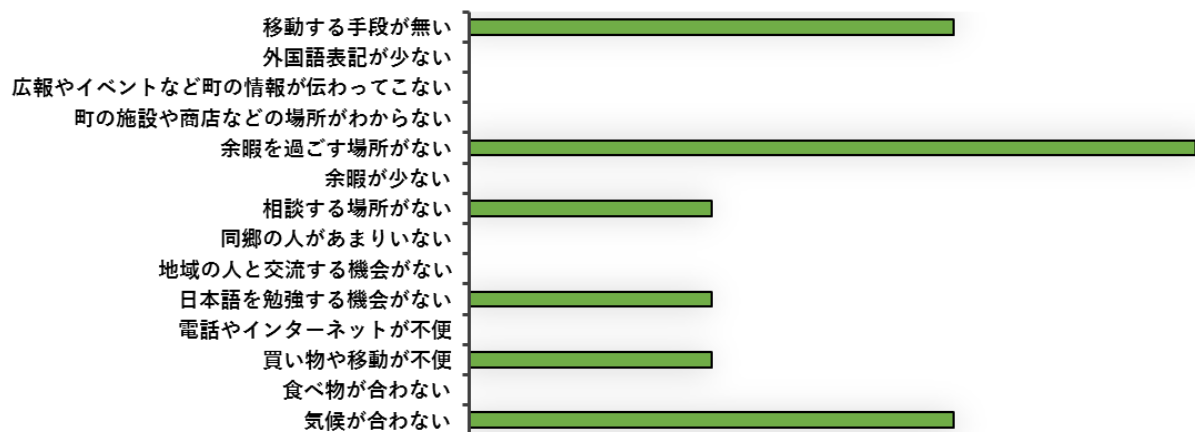
満足している	6	32%
まあまあ満足している	11	58%
あまり満足していない	2	11%
満足していない	0	0%
未回答	0	0%
計	19	100%

- 満足している
- まあまあ満足している
- あまり満足していない



天塩町での暮らしに全体の3割が「満足している」、6割が「まあまあ満足している」1割が「あまり満足していない」と回答

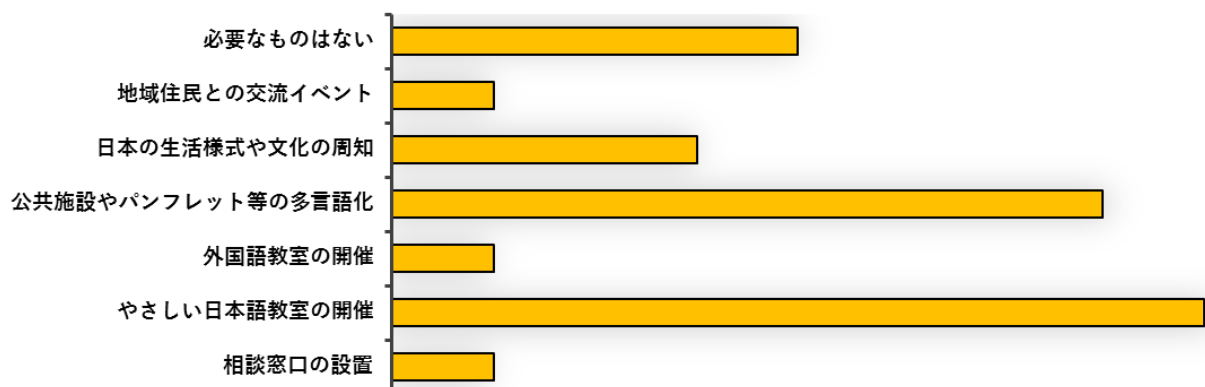
Q15. Q14 で「あまり満足していない」または「満足していない」と回答した方にお聞きします。満足していない理由は何ですか（複数回答）



満足していない理由として「余暇を過ごす場所がない」ことがピークを見せ、次いで「移動する手段が無い」。余暇を過ごす環境整備、移動手段の必要性が伺える。

Q16. 天塩町の取り組みとして必要と思うものは何ですか（複数回答）

相談窓口の設置	1
やさしい日本語教室の開催	8
外国語教室の開催	1
公共施設やパンフレット等の多言語化	7
日本の生活様式や文化の周知	3
地域住民との交流イベント	1
必要なものはない	4



天塩町に必要な施策として、「やさしい日本語教室の開催」と「公共施設やパンフレットなどの多言語化」のニーズが多い。

事業者へのアンケート結果

回答事業者数 n=4 (未回答 6)

1. 事業所の業種は

卸売・小売業	
建設業	1
製造業	
運輸・郵便業	
金融・保険業	
宿泊・飲食サービス業	1

その他サービス業	
農林水産業	
医療・福祉	2
教育・学習	
その他	
未回答	6
計	10

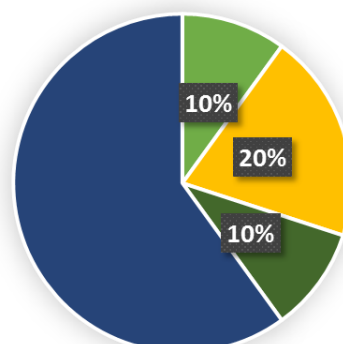
回答業種は建設業が1、医療福祉が2件、宿泊サービスが1件

Q2. 事業所の規模は

10人未満	
10人以上30人未満	3
30人以上100人未満	1
100人以上	
未回答	6
計	10

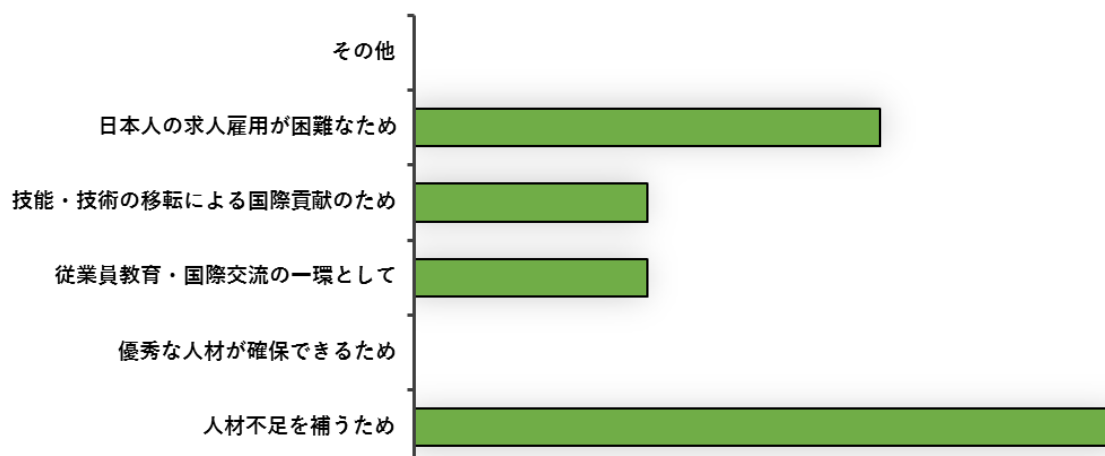
Q3. 従業員（日本人・外国人）は足りていますか

足りている	
まあまあ足りている	1
あまり足りていない	2
足りていない	1
未回答	6
計	10



従業員の充足について、「あまり足りていない」が20%、「まあまあ足りている」と「足りていない」が10%であった。

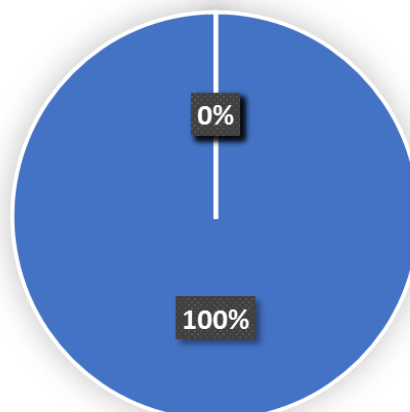
Q4. 外国人従業員の雇用理由はなんですか（複数回答）



雇用の理由について、「日本人の求人雇用が困難」、「人材不足を補うため」がピークを見せ、人材不足を理由とする雇用が大半を占めることが伺える。

Q5. 外国人従業員の募集方法はなんですか

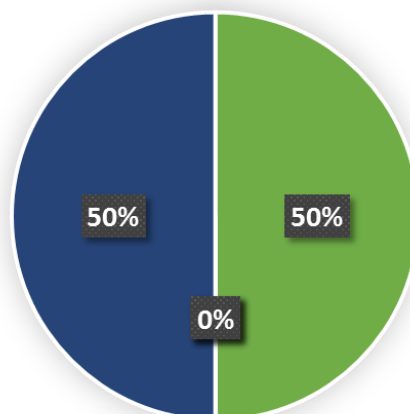
ハローワークなどの公的機関の紹介	0
民間の職業紹介機関の紹介	4
求人広告	0
海外の斡旋業者の紹介	0
海外で現地採用	0
その他	0



外国人従業員の募集方法については、民間職業紹介機関の紹介に限られている。

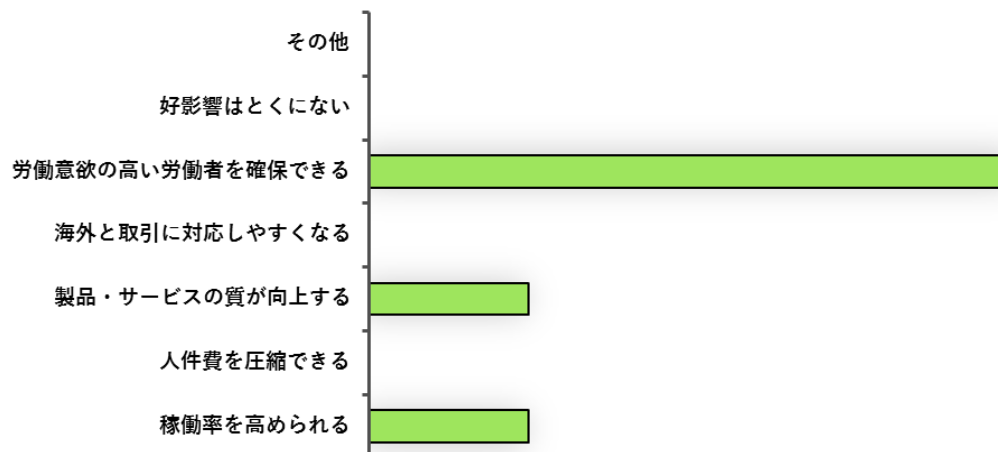
Q6. 外国人従業員へ日本語教育訓練を実施していますか

従業員による教育訓練を実施	2
外部講師等による教育訓練を実施	0
日本語習得費用を補助	0
現在実施していないが、実施の予定がある	0
実施の予定はない	2
その他	0



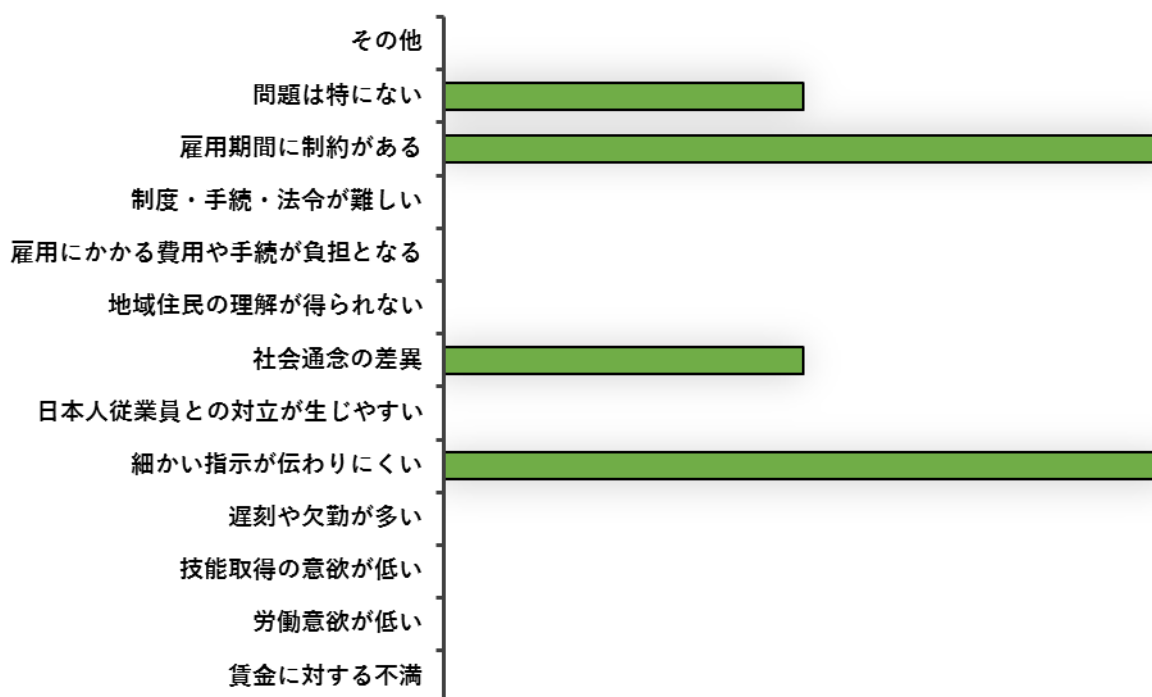
外国人従業員への日本語教育訓練については、半数の業所が「実施の予定はない」と回答、半数の事業所が「従業員による教育訓練を実施」を実施していると回答している。

Q7. 外国人従業員の雇用による好影響はなんですか（複数回答）



外国人従業員に雇用による好影響について、労働意欲の高い労働者を確保できることが最多で外国人従業員の労働意欲・意識の高さがうかがえる。

Q8. 外国人従業員の雇用による問題はありませんか（複数回答）



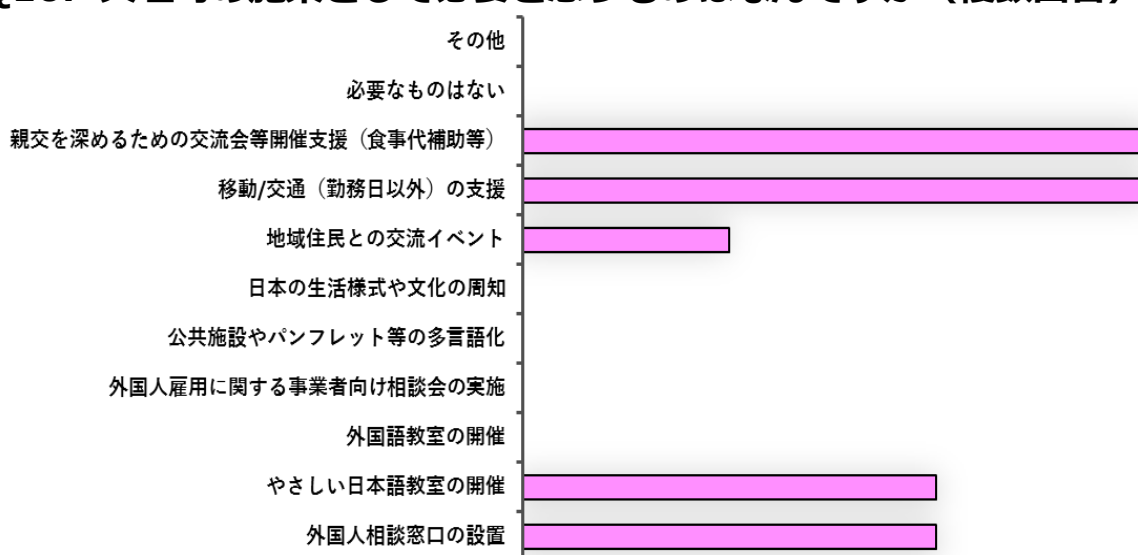
外国人従業員の雇用による問題について、「雇用期間の制約」と「細かい指示が伝わりにくい」が最多である。

Q9. 地域に住む外国人はどのようなことに困っていると思いますか

(複数回答)



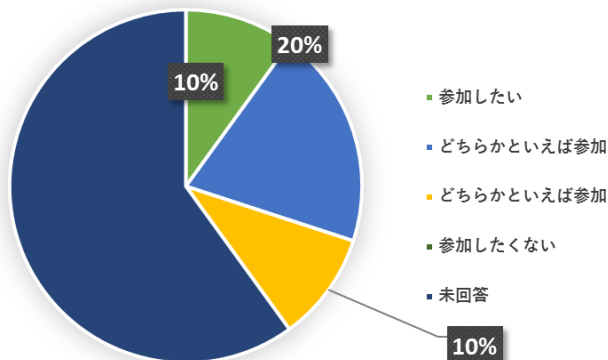
Q10. 天塩町の施策として必要と思うものはなんですか (複数回答)



天塩町に必要な施策として、「親交を深めるための交流等開催支援 (食事代の補助)」、「移動交通 (勤務日以外) の支援」「日本語教室の開催」「外国人相談窓口の設置」などが必要だという認識がある。

Q11. 地域住民と外国人従業員が交流できるイベントに参加したいと思いますか

参加したい	1
どちらかといえば参加したい	2
どちらかといえば参加したくない	1
参加したくない	
未回答	6
計	



交流イベントへの参加意向については、参加に前向きな回答が 20%、後向きな回答が 10%と、外国人従業員の地域との交流について前向きな割合が高い。

Q12. イベントの内容について興味のあるものは何ですか（複数回答）



イベント内容については、「交流イベント」が最多となり、交流のニーズがうかがえる。

Q13. その他、困りごとや町への要望など自由記載欄

天塩では買い物できないもの、若い人向けの服など、稚内までの交通の便が悪いので、事業所の職員がフォローしなければならない。

